



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第70号
VOL.70

八戸国際交流協会

Hachinohe International Relations Association

2023年10月発行

Published October 2023

異文化交流で「相互理解！」



令和5年7月23日（日）

八戸水産会館にて「異文化理解交流イベント」を開催しました。鮫、白銀地区に住む日本人23名とベトナム人20名が参加し、輪投げやディスクゲッターなどのニュースポーツを楽しみながら交流をしました。

詳しい内容は2ページをご覧ください。⇒

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2 ……異文化理解交流イベント

P3 ……国際交流員のコーナー

P4~5 ……キャスリーンさんの剣道体験記

P6 ……JICA 海外協力隊員の現地レポート

P7 ……世界で活躍する八戸ゆかりの人

P8 ……外国人住民向け防災情報

会員数

個人

118

団体

52

(令和5年9月末現在)

異文化理解交流イベント

ニュースポーツで遊ぼう！

7月23日、八戸水産会館にて、鮫、白銀地区を対象とした「異文化理解交流イベント」を開催しました。当日は、地域に住む日本人とベトナム人技能実習生合わせて43名が参加し、老若男女問わず楽しめるニュースポーツを通して交流を深めました。

今回のイベントは、昨年、一昨年と実施した「地域で育む BOSAI 力講座」において、鮫、白銀地区に住む日本人と外国人が、一緒に防災に関するイベントを行ったことをきっかけに企画されました。

参加者は全8チームに分かれ、スカットボール、ディスクゲッター、ニチレクボール、輪投げの4つのニュースポーツで点数を競いました。実習生とのコミュニケーションを心配する参加者もいましたが、ゲームが開始するやいなや、すぐに各グループからは歓声が！参加者はお互いに声援や拍手を送るなど、終始笑顔でコミュニケーションをとっていました。

鮫、白銀地区の水産会社では、多くのベトナム人技能実習生が働いています。実習生達は、来日する前に母国で日本語を勉強しており、八戸に来てからも、日本語教室等で定期的に勉強をしているため、日本語での簡単な会話ができます。人混みをかき分けるときも、「すみません」と自然に声をかけていて、ゲーム終了後の交流会では、ベトナム語や国の食べ物、季節の違いなどについて、日本語で話していました。



笑顔で集合写真。いい汗かきました！



閉会式では、白銀振興会青年部長の佐々木孝雄さんから、地域の盆踊り大会やまつりパレードへの招待がありました。今後も、町で見かけたら声をかけあったり、一緒に地域のイベントに参加したりと、更に交流を深めていただけたら嬉しいです。

参加して下さった皆さん、そして、ご協力頂いた八戸市スポーツ推進委員の皆さん、ありがとうございました！

スカットボール



一体感が生まれました！

ディスクゲッター



大人も本気です！

ニチレクボール



全員1点集中！

八戸国際交流協会 会員募集！

八戸国際交流協会の会員を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 個人1口 2,000円 団体1口 10,000円

会員の特典 ●協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
●協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
●協会主催のイベントや各種講座では会員割引等の特典があります。

八戸国際交流協会ボランティア募集！

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、18歳以上で、次に掲げる条件を満たす方です。

条件 1) 八戸圏域内で活動できる方
2) 国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容 通訳・翻訳、ツアーガイド、ホームステイ、その他協회가認めた活動



国際交流員 (CIR) ジュンジのコーナー

皆さん、お久しぶりです。八戸市で丸々二年過ごした、三年目のジュンジです。

私が八戸に来たのは夏の終わり頃でしたので、八戸の夏を経験したのは、今年で二回目になります。今年の夏は、去年とは比べものにならないくらい暑く、外に出るだけでも、カリフォルニアのベイエリアに住んでいた自分にとっては苦しい暑さでした。

Hello everyone. It's been a while. This is Junji Yang, a third-year "veteran" of Hachinohe, having spent two full years in this beautiful city. I first came to Hachinohe at the end of the summer of 2021, so this year was the second time that I have actually experienced the summer in Hachinohe. That said, this summer was way hotter than last year, and just going outside had been a struggle for me, who was only familiar with the Bay Area of California weather.

八戸の夏の風物詩と言え、真っ先に出て来るものは、やはり「三社大祭」になります。私が八戸に来てから、コロナのせいでなかなか「本物の三社大祭」が見られなくて少し残念でしたが、今年ようやく全力で祭りができると、7月末から街中の人々がその準備でざわつき始めるのを肌で感じました。

When it comes to the summer charms of Hachinohe, the first thing that comes to mind must be the "Sansha Taisai Festival." Since I came to Hachinohe, I have been a little unfortunate that I couldn't experience the real "Sansha Taisai" because of the COVID situation. This year, the festival was finally held with no limitations, and from the end of July, I could feel the excitement and passion of people in the city as they started preparing for the festival.

去年は一人の観客として祭の雰囲気だけを楽しんだ自分ですが、今年は同僚たちの後押しもあって、重い腰を上げ本気の三社大祭に参加することにしました。

Talking about myself, thanks to the encouragement of my colleagues, I have also decided to make up my mind and participate in the Sansha Taisai Festival in its full swing.



二日間山車を引っ張り、感想としては「あつい！」の一言につきます。気温ももちろんのことですが、人々の祭りに対する情熱がとにかく凄まじかったです。それと、「三社大祭」の象徴とも言える変形する山車はカッコ良く、ロボット好きな自分にとってはロマンあふれるものでした。

During my two days at the festival, I was able to pull the festival floats (dashi) with other local folks, and those floats were deadly HEAVY. Also, since it was right during the hottest summer, the only thing I could say about the festival was, "It's sizzling hot!" However, people's passion for the festival and the atmosphere was just amazing, and the transforming floats, which are also the symbol of the "Sansha Taisai Festival," were SOOOOO cool!

何よりも炎天下にもかかわらず、全身全霊で太鼓をたたき、山車を引き、祭囃子(まつりばやし)を奏でる人々の姿が、日本ならではの祭り文化の重みとして、私の心に深く刻まれました。この経験は、多分私の人生において、富士の頂きで見た景色と共に、忘れることのない大事な一部になると思います。

Above all, the way people thrashed the taiko drums, pulled the floats, and played traditional festival music with all their souls despite the blazing sun had left an indelible impression in my mind of the weight of the unique Japanese festival culture. This experience will probably become an unforgettable part of my life, along with the view I saw from the top of Mt. Fuji.

キャスリーンさんの 剣道体験記

編集長 川崎康一

今回は、日本の武術の一つである剣道を習っているフィリピン人 ALT（外国語指導助手）のキャスリーンメイ ヴィクトリアさんと、彼女に剣道を指導している八戸市立三条中学校の夏坂先生にお話をうかがいました。



自己紹介をお願いします。

私はフィリピン出身のキャスリーンです。日本には2021年に来て、現在は三条中学校、三条小学校、西園小学校でALTをしています。

剣道を始めたきっかけを教えてください。

日本文化をもっと知りたいと思い、昨年の夏から剣道を始めました。スポーツは昔から好きだったので、日本の伝統的なスポーツに挑戦してみたいと思いました。日本についてもっと詳しく知ることができるし、学校で周りの人に溶け込めるようになるかなと思いました。剣道には長年引き継がれてきた大切な歴史と伝統があり、とても面白く感じました。

剣道を通して何を学びましたか？

私が剣道を通して学んだ中で、最も大切なことは忍耐力だと思います。道場の中での行動においてはもちろんですが、道場の外においても大切です。

まず最初に、自分自身に「耐える」ということを学びました。今まではきちんと技をできなかった時や、指示が分からなかった時に悔しさでいっぱいでした。物覚えが悪いと感じたり、周りの人が私に全て英語で説明しなければいけないことに対し、面倒だなと感じたりしてしまいました。しかし、これは私自身が短気だったからだ分かりました。実際には剣道のコーチや生徒たちは、最初からとても忍耐強く私をサポートしてくれていました。自分に厳しくできるのは自分しかいないと思います。実は剣道を継続していれば順調に上達すると安易に考えてしまっていたのですが、新しいことを学ぶことはやはり簡単ではありませんでした。

次に、競技中に「耐える」ということを学びました。正しいタイミングを見つけることの大切さを学びました。試合の練習をしている時、コーチが急いで打ってしまっただめだよと教えてくれました。初心者の私は、あまり考えずに打ちに行っていました。結果的に私の技は全てあちらこちらにいてしまい、一本に近いものは一つもありませんでした。いつも試合が終わる前に疲れ果ててしまっていました。剣道は自分自身に寛容になることも教えてくれました。たとえちょっと苦しいことがあっても自分を受け入れ、完璧を目指すのではなく、稽古の度に自分自身を少し鼓舞して、時間がかかったとしてもその過程に目を向けていくことが大切だと思います。

次に、競技中に「耐える」ということを学びました。正しいタイミングを見つけることの大切さを学びました。試合の練習をしている時、コーチが急いで打ってしまっただめだよと教えてくれました。初心者の私は、あまり考えずに打ちに行っていました。結果的に私の技は全てあちらこちらにいてしまい、一本に近いものは一つもありませんでした。いつも試合が終わる前に疲れ果ててしまっていました。剣道は自分自身に寛容になることも教えてくれました。たとえちょっと苦しいことがあっても自分を受け入れ、完璧を目指すのではなく、稽古の度に自分自身を少し鼓舞して、時間がかかったとしてもその過程に目を向けていくことが大切だと思います。

My name is

ヴィクトリア
美紅亞

コーチや生徒とどのようにしてコミュニケーションを取っていますか？

コーチや生徒が私に英語で話しかけようとしてくれていて、とても感謝しています。稽古の時には、ジェスチャーもたくさん使っています。前もって日本語の用語を勉強するようにしているので、その用語を聞くと何をすべきか分かります。また剣道の本やインターネットの記事を読んだりもしています。

キャスリーンさんが八戸市民体育大会の試合に出るには、選手登録をしなければなりません。夏坂先生が考えた名前は「美紅亞」、ファミリーネームの「ヴィクトリア」から付けました。紅はキャスリーンさんの好きな色、そして美しい姿で、アジアで剣道を広めてほしいとの願いが込められているとのことでした。



今後の目標はありますか？

剣道は身体的な強さを表すだけのスポーツではなく、竹刀と体をつなげる「気剣体一致」を通して精神統一も必要です。私たちの心は最大の敵にも、最高の友にもなり得ると信じているので、剣道を極めることで心と精神を強くしたいと考えています。私たちはほとんどの場合、悲しみ、不安、その他のネガティブな感情によって支配されてしまい、精神が崩壊してしまいます。しかし、感情をコントロールできるようになれば、人生や幸せも自分で決めていけると思っています。

さらに私はもっと勇敢になりたいのです。正直に言うと、これまでの経験から言って、私は挑戦する前から色々なことを考えてしまうので、新しいことを始めることが怖くて苦手なんです。剣道において対戦相手に対して下がるのは良くないことで、たとえ相手がどんなに強くても正面から向き合う勇敢さを習得することが必要なのです。今後の人生で直面するであろうどんなに厳しい状況でも、この剣道での経験が私の背中を押してくれると信じています。

最後に、私は剣道を通して学んだことを、フィリピンにいる友人、家族、生徒にも教えてあげたいです。剣道は日本独自の素晴らしいスポーツで、世界の人たちはもっと知るべきですし、一度はやってみてほしいです。今後も受け継がれるべきですし、未来の人々も楽しむことができると思います。剣道という日本の伝統的な武道芸術は、その人の生き方を形成してくれるのではないかなと思っています。



今回、剣道を指導している夏坂先生との切返し練習を見学させてもらったのですが、終わった後、お互いに正座して防具を外す際に、「あれ？」と思う場面がありました。

夏坂先生が防具を外している間、キャスリーンさんは正座したまま。夏坂先生が防具を外し終わってから、キャスリーンさんが防具を外し始めました。剣道を始めた時からキャスリーンさんはこの行動をしていて、夏坂先生も、「教えたわけではなく、最初はびっくりしました。」と話していました。

フィリピンでは年長者に対する深い敬意を表す事を子供の時から教えられてきます。自分の家族・親戚の年長者に会った時には、年長者の右手を取って自分の額に付け、「Mano po」と挨拶します。このことからキャスリーンさんも、夏坂先生の行動が終わってから、自分の行動に移したのでしょう。

夏坂先生は「キャスリーンさんに教えることで、自分も剣道について学ぶことが多いです。キャスリーンさんと剣道することは、とても楽しいです。中学生もキャスリーンさんがいることで、とてもいい刺激になっています。今後、外国人が剣道をしたい時は、ぜひ一緒にやりたいですね。」と笑顔で話していました。

JICA 海外協力隊員の現地レポート

アフリカ ルワンダ共和国  で農業支援



JICA 海外協力隊として 2022 年 11 月から赴任中 八戸市出身 やましたたか お 山下孝雄さん

八戸国際交流協会の皆さん、八戸市民の皆さん、ミリウェ ニシミネ クワメニャ！*1
私は山下孝雄といます。独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency・以下、「JICA」ジヤイカ）といます。）の JICA 海外協力隊として、アフリカのルワンダ共和国（以下、「ルワンダ」といいます。）で農家支援の活動をしています。

ルワンダは東アフリカにある内陸国で、外務省ルワンダ共和国ホームページの基礎データによると、面積は 2.63 万平方キロメートル（日本の 14 分の 1 程度）*2、人口は 1,263 万人（日本の 10 分の 1 程度）*3 です。赤道近くに位置していますが、国内の平均標高が 1,600 メートル（八甲田山大岳 1,585 メートル）*4 と高地であるため年間を通じて温暖な気候です。国土はなだらかな丘陵によって覆われており、「千の丘の国」と呼ばれて、全国に美しい丘陵風景が広がっています。

ルワンダは農業国で人口の 9 割が農業に従事しており天然資源もほとんどありません。JICA はインフラ整備、農業開発、安全な水の供給、教育などの支援を通して経済発展に協力しています。

私は、2022 年 11 月にルワンダに赴任しました。最初のひとは首都のキガリでルワンダの任国事情について経済、治安ならびに語学訓練などの講義を受けました。キニアルワンダ語の語学訓練では挨拶、数字の数え方や時間など日常生活で用いる表現を学習しました。その後、12 月に首都から約 130 キロメートル、車で 3 時間（八戸市から弘前市くらいの距離と時間）のファイエ郡*5 に赴任しました。私の配属先はファイエ郡庁の農作物やコーヒーなど換金作物を担当する部署です。郡庁職員と協力して農家さんの農作物栽培方法の改善が要請されています。



美しい丘陵風景



Rwanda



ルワンダのファイエにて

2023 年 4 月 農家さん撮影
トマトの茎が倒れないように支柱を取り付け

ファイエに赴任して農家さんと協働する中で、なかなか思うようにいかないのが天候です。ルワンダの雨季は 3～5 月で、短時間で大雨が降ることもあって、農作物に悪い影響が出たりしました。また 6～9 月は乾季で、今月の 7 月は雨が全く降らず農作物に元気がない状況になっています。けれどもルワンダ人の笑顔ややさしさに触れるたびに、一緒に農作業をしていて良かったと感じています。これからも農家さんの価値観、考え方を尊重し、日本式農業がルワンダの農家さんに受け入れられるよう試行錯誤しながら活動を進めていきたいと思っています。

- * 1 : ルワンダの公用語であるキニアルワンダ語で「mwiriwe (こんにちは)、nishimiye kubamenya (初めましてお会いできてうれしいです)」のこと。
- * 2 : ルワンダの面積 外務省 ルワンダ共和国ホームページ基礎データより、日本の面積 国土地理院ホームページより、筆者が計算した。
- * 3 : ルワンダの人口 外務省 ルワンダ共和国ホームページ基礎データより、日本の人口 総務省統計局ホームページより、筆者が計算した。
- * 4 : ルワンダの平均標高 worlddata.info ホームページより、八甲田山大岳標高 国土地理院ホームページより。
- * 5 : huye.gov.rw ファイエ郡庁 (Huye District) ホームページより、ファイエ郡はルワンダの南部州にある 8 つの郡の 1 つです。なお、日本の行政区分と異なります。



世界で活躍する八戸ゆかりの人

一つを知ると、見える世界が変わる！

青森県立八戸東高校出身で、現在はフランス・パリで暮らす、はり師・きゅう師・
あん摩マッサージ指圧師のおもむかいあすか大向飛鳥さんから海外生活についてお届けします。



「夜に風呂に入ると死ぬ」と聞いたら、みなさんはどう思うでしょうか？これは私がコロナ禍を過ごしたベトナムで聞いた言葉です。まさか、そんなわけない！と思うのでしょうか？私も最初はそう思いましたが、ベトナム人の知人から地方の暮らしについて聞くと、感じ方が変わってきました。ベトナムは南北に長い地形ですが、中央の農村部などでは上下水道が整っていない地域も多く、山岳部には、冬に雪が降るほど寒い所もあります。もともと熱い湯を浴びる習慣がないので、夜に水を浴びると体が冷えて風邪をひいたり、心臓に負担がかかったり、井戸や川の水を利用する場合は、水質の問題もあるかもしれません。暗くて虫や足場の危険が察知できないことも想像すると、死とまで行かずとも災いを連想させる背景が見えてきます。

一つの気づきが、世界の見え方を変えることに面白さを感じてきました。

ALTの先生との交流や、三沢に米軍基地があったことも英語の学習を進める動機になりましたが、実際に海外で暮らしたのは大人になってからで、近年では家族の転勤でベトナム・ハノイへ約3年、その後2022年からはフランス・パリに住んでいます。

最近では携帯ひとつでAIが母語から外国語に訳してくれますが、露天風呂や銭湯のイメージで打つ日本語の「風呂」と、相手の「風呂」は別なものかもしれないという文化の翻訳まで、まだAIはたどりついていません。

ハノイではフランス語で習うベトナム語教室に通いました。発音が難しく数字を言うのも大変でしたが、ベトナム語化されたフランス語や、漢字が元になっている単語など、言語を学ぶことで、歴史や考え方の一端が見えてくるのはとても興味深かったです。もちろん、現地の人とコミュニケーションがとれるとお互いに親近感が出て、生活もより鮮やかになりました。



施術を担当していたハノイの日系サロンで

最終日にベトナム人スタッフと一緒に



フランス・パリでは、指圧師として活躍中。

私は日本では鍼灸指圧師として働いていたので、海外に出ても様々な国の方の健康に関わらせて頂いています。人間の体という普遍的なものを扱いながらも、例えば問診票をLGBTQフレンドリーにしたり、それぞれの宗教・ライフスタイルを尊重した対応ができるようにしたりしています。実はフランスでは指圧を学ぶ人も多く、海外にいながら日本を大好きだと熱く語る人も数多く会いました。

いろいろな人と暮らす世界で「正しくものを見る」ことの難しさを痛感しています。けれど、実際の経験から得たことや出会った人の言葉は、その判断材料となる想像力を与えてくれます。困ったときには知恵や励ましになります。「そうきたか」と思わず笑う瞬間もありますが、単純ではない世界に向き合っていて見えてくる、生き方の選択肢もあると感じています。

a à á â ã ä å
ă ă ă ă ă ä
â à á â ã ä



ベトナム語の
aの発音は
18種類あります

テラスでとると自然がいっぱい小鳥のさえずりと花と緑にかこまれて

とどろき保育園

認定こども園

〒031-2241 八戸市市川町字轟木前 34-3
TEL:0178-52-5511
FAX:0178-52-5503
ホームページ: <http://www.todoroki.info/>

カメイ歯科

八戸市六日町 23 (コンサートホールとなり) TEL 0178-22-0707

診療時間 平日(月火水金)10:00~14:00 15:00~19:00 木曜日 10:00~14:00

・六日町パーキング券・共通駐車券を差し上げております。

Hachinohe City Disaster Prevention Information for Foreign Residents

はちのへし ほむページ がいこくじんじゅうみんむ ぼうさいじょうほう えいご にほんご ていきょう ぼうさいちしき ふひ
 八戸市では、ホームページで外国人住民向けの防災情報を、英語とやさしい日本語で提供しています。防災知識を増やし、日ごろから災害に備えるために、いつでも見ることができるようにしてください。


Hachinohe City provides disaster prevention information for foreign residents in English and simple Japanese on the website. Please make sure you can check it at any time to increase your knowledge about disaster prevention and prepare for disasters on a daily basis.

ホームページ

したこーど りんく ほむページ み
 下のQRコードまたはリンクから、ホームページを見ることができます。

<https://bit.ly/3fzCwjH>

がいこくじんむ ぼうさいじょうほう ほむページ
★外国人向け防災情報ホームページ→




Website

You can access the website from QR code or link below.

<https://bit.ly/3fzCwjH>

★Disaster Prevention Information→



提供情報

さいがいじ ひなんじょうほう
①災害時避難情報
 ひなんしじ ひなんじょ かいせつじょうほう し
 避難の指示や避難所の開設情報をお知らせします。

さいがいそな じょうほう
②災害に備えるための情報
 ぼうさいが いどぶつく ひなんじょ いちらんひょう けいさい
 防災ガイドブックや避難所の一覧表を掲載しています。

さいがいじ べんり たげんごじょうほう
③災害時に便利な多言語情報
 ぼうさいじょうほう たげんごよ あぶりうえぶさいと
 防災情報を多言語で読めるつぎのアプリやウェブサイトの
 リンクを紹介しています。

 ←災害情報がわかる「Safety tips」


ひなんじょ ぼしょ ぜんこくひなんじょが いど
 避難所の場所がわかる「全国避難所ガイド」→ 


Information delivered

① Disaster Evacuation Information
 Evacuation orders and shelter opening information

② Information to Prepare for a Disaster
 Disaster prevention guide book and the list of shelters

③ Useful Multilingual Information Links
 Links to apps and websites that offer disaster prevention information in multiple languages

 ←「Safety Tips」 is an app for giving you disaster information.

「Japan Shelter Guide」 is an app for Searching for disaster evacuation Shelters in Japan. → 

れんらくさき Contact Information

はちのへし しみんれんけいすいしんか
八戸市 市民連携推進課
 こくさいこうりゅうぐるーぷ
国際交流グループ

Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
 〒031-8686 1-1-1 Uchimaru Hachinohe
TEL 43-9257 **FAX** 47-1485 **Email** renkei@city.hachinohe.aomori.jp



編集後記

4年ぶりに三社大祭が通常開催されました。県外からの旅行客が増えてきていると同時に、海外から八戸にやって来る外国人の数も増えてきました。今月号では、八戸在住の外国人の日常や、八戸市民との交流、そして海外で活躍する八戸出身者等を紹介しています。

八戸国際交流協会でも各種交流イベントを開催していきますので、是非参加して、色々な国の人たちと交流してみてください。

編集長 川崎康一

編集スタッフ

編集長：川崎 康一
 編集員：田頭 順子 亀井 圭子 Micheal Morris
 岩間 未希子 今井 文子 ジュンジ・ヤン

発行・お申込み・お問合せ：
 八戸国際交流協会（八戸市市民連携推進課内）
 〒031-8686 八戸市内丸1-1-1
 TEL 0178-43-9257
 FAX 0178-47-1485
 E-mail hira.hachinohe@gmail.com
 http://hachinohe-hira.jp



印刷：赤間印刷工業株式会社
 〒031-0072 八戸市城下一丁目24-21
 TEL 0178-43-7158 FAX 0178-43-8237